

IZUKA



# 飯塚市

ふれあいネットワーク

# 社協だより

No. 18

発行日  
2012年2月15日

## 忘れないで...あれから約1年。

みなさまからの支援で  
少しずつ笑顔と元気が戻るまち

もっと広がれ  
“笑顔の輪”

そして  
“支援の輪”

東日本大震災  
被災地・仮設でのサロンの様子



高台に1軒  
取り残された家



避難区域20km付近



草が覆いかぶさり錆びついた  
JR線路



新知町漁協と釣師浜の間に  
あった公園

《発行》飯塚市社会福祉協議会 〒820-0011 飯塚市柏の森956番地4 TEL0948-23-2210 FAX0948-23-2262



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金の一部、皆様方の寄付金により発行させていただいております。

## 東日本大震災被災地支援報告

## 「お互い少しでも、寄り添って生きていけたら…」

## ～被災地支援の体験、そして私の思いと学び～

飯塚市社協事業第2課の岡本政孝課長(右写真)が、平成23年9月に被災地(福島県浪江町)支援に入りました。

「震災から約1年、その当時は連日のようにニュースが流れていましたが、時の流れとともに情報量が減っているように感じます。

薄れゆく被災地への意識…。まだか…まだか…と、やり場のない気持ちになることも。」  
こんな気持ちの私が伝えたかったこと。報告と共にお話しします。



## ■現地を視察したとき

現地を視察したとき、瓦礫はほとんどないものの、そこには雑草が覆い茂っていました。しかし、よく見ると、田んぼの中には取り残された数隻の小船が散乱している状態であり、その船たちも、海水にも負けない強くたくましい雑草たちに優しく包み込まれ、遠くから見る限りには何事もなかったかのような風景に同化されているのがとても印象的でした。



腰ほどの雑草が覆い茂っていた奥に見えるのは小型船

震災から半年後の平成23年9月12日から9月19日まで、福岡県社協の要請を受け、被災した浪江町社会福祉協議会の支援活動に参加しました。目的は、被災者を支援する生活支援相談員のサポートが主な内容です。

阪神淡路大震災や新潟中越沖地震に

援相談員が緊急配置されました。その際、仮設住宅などで様々な生活課題や不安をもって生活されている被災者に寄り添い、相談相手となって支援活動に大きな成果を上げたことから、今回も各被災社協に配置されたものです。

浪江町は面積223km<sup>2</sup>(久留米市位)、人口約2万人の町で、福島第一原発から半径20km圏内の警戒区域並びに放射能汚染区域に入るため、全町民が避難することとなりました。

地震・津波・原発爆発と立て続けに災難が降りかかり、何がなんだかかわからないまま「原発が爆発した。とにかく逃げろ!」の指示に、どこに避難して良いのかさえもわからない中で、着の身着のまま避難した人たち。次の日になり「放射能汚染により自宅に戻れない」と聞かされた時の不安や怒りの中の避難所生活は、想像を絶するものがあったと思います。中には避難所を7か所もたらい回しにされた方もあったと聞くと、言葉に詰まってしまいました。

そのような避難所から仮設住宅に移った浪江町民は、住み慣れた地域関係を分断された上に、近隣の市町にそれぞれ避難しているため、自治会組織が全く形成されておらず、ゴミだし・駐車場・除草・防犯・交通手段・集会所利用などの問題が次々にあがっていました。つまり、ゼロからのコミュニケーションづくりを余儀なくされていたのです。



12名の生活支援専門員  
全員浪江町出身

そのような大きな困難の中で、仮設住宅暮らしをしている浪江町民の心を少しでも和らげる相談相手になり、心通い合う関係作りの中心が同町出身の生活支援相談員です。今回緊急雇用された生活支援相談員は、どなたも今まで福祉には縁のない職歴の方ばかりなのですが、同じ被災者としてのその一声一声が被災者の心を癒す存在になっていると感じました。

生活支援相談員の訪問活動の一番の狙いは①孤立防止・②自殺防止・③閉じこもり防止にあります。全世帯にくまなくローラー作戦で入り込みながら要援護者リストを作成し、孤独死ゼロ・住民同士の支えあい・引きこもり防止のサロン活動・ボランティア活動や介護サービス等へのパイプ役・住民同士のコミュニケーションづくりと、活動範囲は多岐にわたっていました。

### 被災された方々の声

・「冬に向けて毛布の支給はないのか」という相談があった。いつまでも物資をタダでもらえるという発想は捨てなければならぬし、自立に向けてなんでもしてあげるのとは良くない。義援金をもらっているのだから出来る事は自分ですべき」と、相談員の立場ではそう言うと思う。しかし、私も被災者の一人。被災者の立場になれば、職もまだ見つからない人に「義援金をもらっているのだから、そこから金を出せ」とは言えない。お金はつかいたくないのが心情。

・どの仮設住宅も店から遠いため、高齢者が買い物に行けない。そこに目付けた悪徳業者がアンパンを一個三百円で売り付けていた。

・被災者には義援金が入ったため、職を失った一部の人たちが飲食街で派手な金遣いをしており、地域間による人間関係にヒビが入っている。

・3月11日に避難警報が出た。体育館等に避難し日が暮れたので、逃げ遅れた人たちを翌日探しに行こうとみんなで話していたのに、さらに避難命令が出たので自分たちでは探しに行けなかった。実際、朝一で探しに行くと連れて帰ってきた人もいたのに「まだ生きています、私たちに生涯『心の傷』として残るでしょう。」



新潟町漁協周辺の住宅地跡

・生まれて一週間の子供を連れてお湯が使える避難所を探しました。行くところ行くところ、みな同じ状況で断られました。ある学校の当直室を貸していただいたので、そこで数日過ごすことができました。

・先日やっと一時帰宅申請の許可が下り、保険証を取りに帰ってみると、家の中には動物が入って食べ荒らしたり、糞が散乱して住める状態ではなかった。

・友達から「子供を守ってやれるのは親だけだよ」と言われ、友達は引越していきまされた。でも私は家を建てて間もないから：

・仮設住宅に移ってしばらくは親戚の人たちがちよこちよこ寄ってくれていたけれど、数か月もすると誰も来なくなりました。

### 今後の課題



急ピッチで進められる堤防工事

今後仮設住宅を巡回するうちに入居者に微妙な変化が現れ、言葉や行動のほんのちよつとしたところにSOSの兆候が出てくる可能性があります。その変化を一番察知できる立場にあるのが生活支援相談員です。この微妙な変化を見逃さない気配りが今後更に求められることでしょう。

また、原発の避難区域がいつ解除になるのか全く見通しが立たない中で、仮設住宅の有効期限は法律上2年間となっています。生活の立て直し(基盤づくり)をどの地区から再出発するかさえわからない状態では、期限を延長することが絶対必要です。

支援も長期化します。復興支援はラグビーに例えることができます。ボールを次に繋げながら、時間の経過とともに変化していくニーズにこたえられるような臨機応変の支援が不可欠です。

今回参加して改めて感じたことは、「失ってみて初めてわかる当たり前のありがたさ」でした。大切な人を亡くした思い。大切なものを亡くした思い。いつも当たり前前に生活している一つ一つのことが、どれほどかけがえのないものかを痛感させられた思いでした。この思いを風化させないよう心がけ、毎日普通に暮らせることに感謝の気持ちを持って、自分のできることを家庭にも、仕事にも、社会にも努めていこうと思います。

最後に、浪江町社会福祉協議会の皆様、ありがとうございました。遠い福岡の地から一日も早い復興をお祈りいたします。



平成23年度 赤い羽根共同募金結果

(単位:円)

募金種別	募金実績額	内 訳	
戸別募金	19,132,182	飯塚地区	1,007,600
		立岩地区	1,370,500
		片島地区	285,700
		菰田地区	727,800
		飯塚東地区	1,420,650
		二瀬地区	2,583,950
		鎮西地区	1,248,602
		幸袋地区	1,269,180
		鯉田地区	1,224,400
		穂波地区	3,891,100
		筑穂地区	1,602,650
		庄内地区	1,414,600
		瀬田地区	1,085,450
法人・大口事業所	2,666,355	企業・病院・商店等 (529)	
パuzzi・ボールペン・携帯クリーナー・タイピン・カード募金	763,086	パuzzi・ボールペン 携帯クリーナー	163,446
		タイピン	13,440
		カード	586,200
街頭募金	435,110	市内15箇所で実施	
特殊募金	170,821	イオンショッピングタウン穂波・個人等	
職域募金	163,556	陸上自衛隊飯塚駐屯地、飯塚市役所、老人クラブ等	
合計	23,331,110		

♡共同募金結果報告♡

赤い羽根共同募金  
ご協力ありがとうございました。



福岡県共同募金会飯塚市支会  
支会長 久保 常次



赤い羽根共同募金のお礼

本年度の赤い羽根共同募金につきましては、市民の皆様方の心あたたまるご支援ご協力により、総額23,331,110円の募金が集まりました。ここに厚くお礼申し上げます。

皆様からお寄せいただきました貴い寄付金の用途につきましては、本会の理事会及び配分委員会で慎重に審議の上、地域において高齢者、障がい者、児童などの分野で市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会やボランティア活動の事業費として適正に配分し、皆様のご厚志に添いたいと考えております。

ここに心から感謝いたしますとともに、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

受賞おめでとうございます。

平成23年10月21日開催の「福岡県社会福祉大会」において、福岡県共同募金会会長表彰が行われました。また、平成23年11月18日開催の「全国社会福祉大会」では中央共同募金会会長・奉仕功労者の表彰が行われました。

☆平成23年度中央共同募金会会長・奉仕功労者表彰の部  
飯塚地区社会福祉協議会 会長 坂本 法観 様

☆平成23年度福岡県共同募金会会長・表彰の部  
新飯塚東地区自治会会長 会長 田中 久智 様  
瀬田地区六反畑自治会会長 会長 谷口 郁男 様  
穂波地区神の浦浦田自治会会長 会長 坂平 聖治 様  
瀬田地区福門自治会会長 会長 樋口 繁秀 様  
鯉田地区社会福祉協議会 会長 清水 堅 様

盆 祭 壇   盆 提 灯   羽 子 板   破 魔 弓   ひ な 人 形   鯉 の ぼ り   武 者 の ぼ り   鎧 ・ 兜   五 月 人 形

専門店  
**えびすや**

☎0948-28-5353   【営業時間】 9:30~18:30  
飯塚市本町 15-3(カラクリ時計前)

- 養護 ( 盲人 ) 老人ホーム 白藤の苑  
措置施設 ( 視覚障害者専用の老人ホームです )
- 特別養護老人ホーム 第二白藤の苑  
介護保険施設 ( 従来型 30 床 ・ ユニット型 20 床 )
- 白藤の苑 短期入所生活介護事業所
- 白藤の苑 居宅介護支援事業所
- デイサービスセンター 白藤の苑

見学を希望される方は  
ご連絡いただければ送迎致します

☎0948-65-4141

嘉穂郡桂川町大字吉隈 13-96



### 災害について見直してみませんか？

## ～ 災害ボランティア講座の開催について ～

飯塚市社会福祉協議会では、地域住民の方々にもう一度「災害」について見直していただく、そしてお互い防  
災意識を高めていただく、災害ボランティア講座を開催します。参加してみませんか。

◎と き 平成24年2月26日(日)

午前9時飯塚市社協・本所集合～10時福岡市社会福祉協議会到着～福岡市社  
協・松尾林氏講演(テーマ:西方沖地震の体験と体験から学んだこと)～12:00  
昼食～13:00唐人町駅・地震跡見学その他～15:00飯塚市社協帰着予定

◎対 象 防災に関心のある方

◎定 員 20名

◎持ってくる物 筆記用具・動きやすい服装で(参加費無料、昼食はこちらで用意します)

★お問い合わせ・お申込みは… 飯塚市社会福祉協議会・本所 電話 0948-24-4500(担当・山下)まで

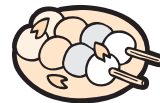


## 参加者募集!! 在宅介護者リフレッシュ交流会

在宅で毎日介護をされている皆さん、たまには「ほっ」と一息しませんか？  
笑顔で介護を続けるためにも自分の心と身体のリフレッシュがとても大切です。  
今回、飯塚市社会福祉協議会では、同じ立場の方々楽しく交流し、『また明日からもがんばろうかな!』  
という気持ちになっていただくために、下記のような企画をご用意いたしました。  
是非ともご参加いただき、元気になって帰りましょう。  
多数のお申し込みをお待ちしております。

記

- \*日 に ち:平成24年3月13日(火)
- \*会 場:「道の駅 おおとう桜街道 さくら館」(田川郡大任町大字今任原1339 TEL0947-63-4126)
- \*参 加 費:1,000円 ※昼食は主催者側でご用意いたします。
- \*参加対象:飯塚市内在住で在宅介護をされている方
- \*定 員:合計40名
- \*申込受付:3月1日(木)から9日(金)まで (各日とも午前9時～午後5時)  
※定員になり次第締め切ります。
- \*内 容:懇親会(昼食)・ピングゲームなど (温泉に入られる方は、タオルをご準備ください。)



予  
定  
表

1号車  
 頼田→庄内→「道の駅 おおとう桜街道」→庄内→頼田  
 10:00 10:30 11:00～14:30 15:00 15:30

2号車  
 筑穂→穂波→本所→「道の駅 おおとう桜街道」→本所→穂波→筑穂  
 9:30 10:00 10:20 11:00～14:30 15:10 15:30～16:00

\*申込先 飯塚市社会福祉協議会 本所及び各支所  
 ・飯塚本所 電話23-2210 ・穂波支所 電話29-5520 ・筑穂支所 電話72-3085  
 ・庄内支所 電話82-4736 ・頼田支所 電話09496-2-5855

### 了専寺白菊幼稚園

## お遊び広場

2月24日

3月9日

了専寺白菊幼稚園  
〒820-0089 飯塚市小正 80 TEL 0948-24-7486 / FAX 0948-24-7473



福岡県弁護士会所属



## 筑豊合同法律事務所

債務整理・相続・民事・刑事事件など市民生活で発生するあらゆる法律問題の解決に取り組んでいます。

- 弁護士 登野城 安 俊
- 弁護士 小山 明 輝
- 弁護士 片山 令 史
- 弁護士 小島 邦 夫
- 弁護士 藤岡 孝 司



0948-25-5903

飯塚市新立岩6番16号 弁護士ビル2階  
～裁判所の前～

## \*「成年後見セミナーと無料相談会」を開催します\*

**日時・内容** 平成24年2月25日(土) 13:30~17:00

(1) セミナー 13:30~15:20

① 基調講演 「成年後見制度の概要と法人後見について」

一般社団法人福岡成年後見センター「あさひ」

理事長 宇治野みさゑ氏(弁護士) 安孫子健輔氏(弁護士) 緒方枝里氏(弁護士)

② 実践報告 「飯塚市社会福祉協議会の取り組みについて」

飯塚市社会福祉協議会・権利擁護センター「ファミリア」専門員 富永奈緒氏

(2) 無料相談会 15:30~17:00

① 相談スタッフ 一般社団法人福岡成年後見センター「あさひ」 弁護士3名

宇治野みさゑ氏 安孫子健輔氏 緒方枝里氏

② 定員・相談時間 先着9名(組)で、一人(組)当たりの相談時間は30分を目安とします。

**会場** 飯塚市立岩公民館 3階・中研修室

**参加対象者** ・地域で高齢者、障がい者等の支援に携わっている専門職・関係者  
・成年後見制度の利用を考えておられる判断能力が不十分な方のご家族等

**申込先** 飯塚市社会福祉協議会 地域課

TEL (0948) 23-2210 FAX (0948) 23-2262

### 「障がい児者 春のバスハイク」参加者募集

毎年恒例の障がい児者バスハイクを、以下のとおり実施いたします。障がい児者とその家族または介助者(1家族2名まで)、ボランティア希望の方を募ります。

・とき 平成24年3月25日(日)

午前9時 穂波・ふれあい会館集合

～午後4時頃 帰着予定

・内容 いのちのたび博物館(北九州市八幡東区)

・参加費 参加者お1人につき500円

(入館料・昼食代込)

・定員 70名(定員になり次第締め切ります。)

※雨天決行ですので、雨天の場合は傘や雨具を持参してください。

\*お申込み/お問い合わせは…

電話 0948-24-4500

FAX 0948-23-2262

ボランティアセンター 担当 山下まで

### 点訳ボランティア入門講座受講生募集

●開講日 3月10日、3月17日、3月24日、3月31日  
の全4回で時間は13時30分~15時

●会場 穂波ふれあい会館(飯塚市忠隈522-3)  
※バリアフリー対応

●講師 松田次生氏(点字技能師)ほか

●内容 初めての方を対象とした点字・点訳・パソコン点訳の基礎学習

●受講料 無料

●申込期限 3月2日(金)

●申し込み 飯塚市社会福祉協議会穂波支所  
担当・秀村

TEL 0948-29-5520

FAX 0948-29-5522



## 総合相談開設のお知らせ

◇心配ごと相談日◇ (3月~6月の本所・各支所で時間は、いずれも13時~15時)

	3月	4月	5月	6月
飯塚本所	9日	13日	11日	8日
穂波支所	27日	24日	22日	26日
筑穂支所	7日	4日	2日	6日
庄内支所	15日	19日	17日	21日
穎田支所	22日	26日	24日	28日

◆飯塚本所 ☎0948-23-2210

◆穂波支所 ☎0948-29-5520

◆筑穂支所 ☎0948-72-3085

◆庄内支所 ☎0948-82-4736

◆穎田支所 ☎09496-2-5855

※飯塚本所(第2金曜日)穂波支所(第4火曜日)筑穂支所(第1水曜日)庄内支所(第3木曜日)穎田支所(第4木曜日)



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金の一部、皆様方の寄付金により発行させていただいております。